



ブラジル日本商工会議所 2021年度第3回フォーラム

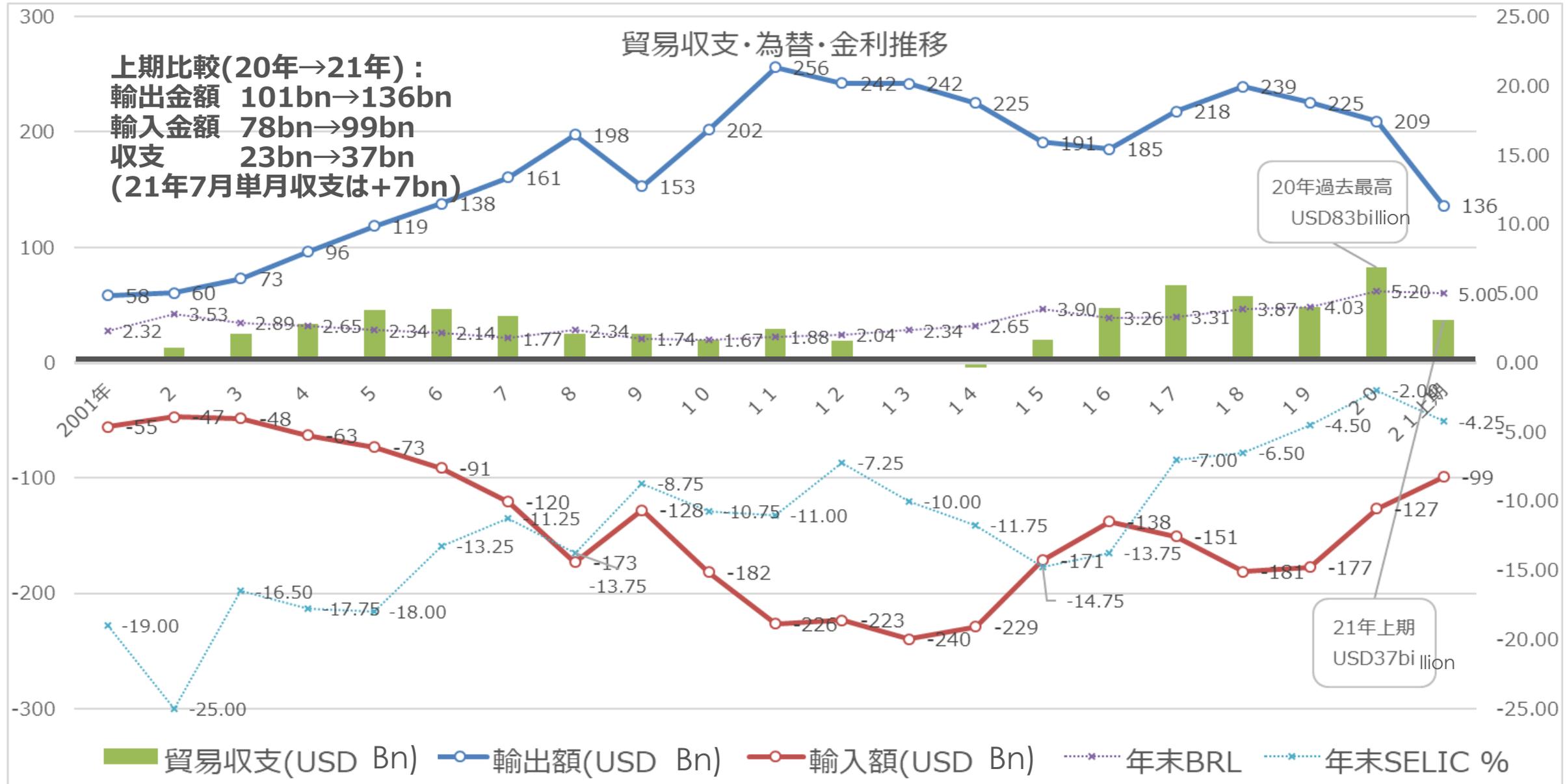
2021年上半期の振り返り並びに今後の展望

2021年9月1日
貿易部会

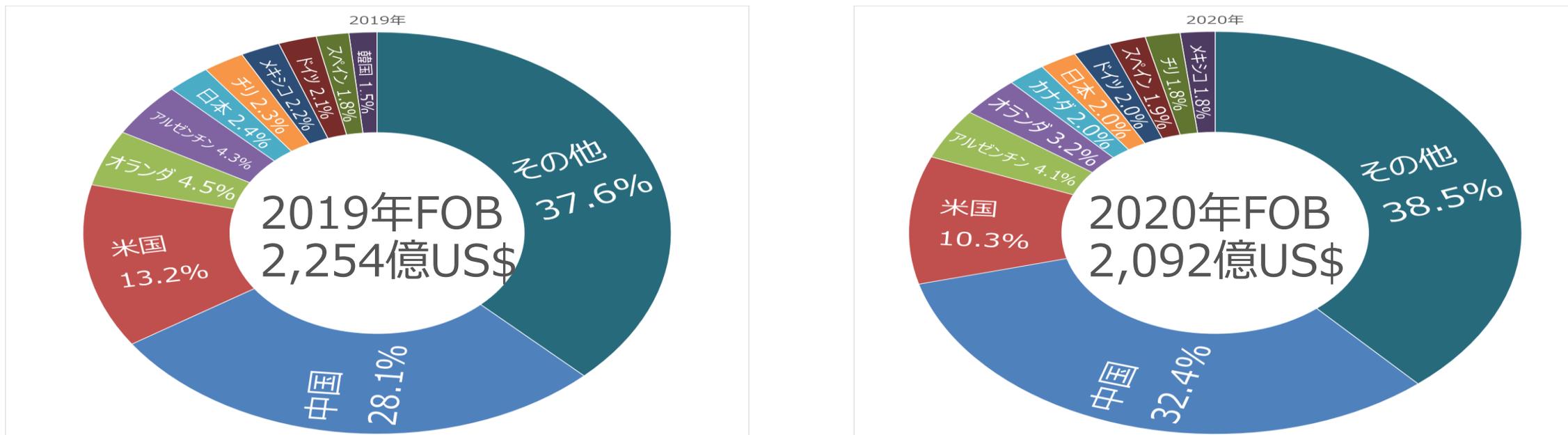
目次

- 貿易収支推移(2021年6月迄) P-3
- ブラジル輸出先TOP10国構成 P-4
- 2021年1-7月 輸出額の前年比推移比較(対中・米・日) P-5
- 2021年1-6月 ブラジル輸出品目TOP30 P-6
- 2021年1-7月 ブラジル主要品目輸出国 P-7
- 2021年1-7月 ブラジル主要品目輸入国 P-8
- 対日貿易収支 P-9
- 対ブラジル直接投資動向(2021年6月迄) P-10
- 2021年上期を振りかえって P-11
- 2021年下期以降に向けての注目点 P-12/13

ブラジル貿易収支推移(2021年6月迄)



ブラジル輸出先TOP10国構成(輸出金額)

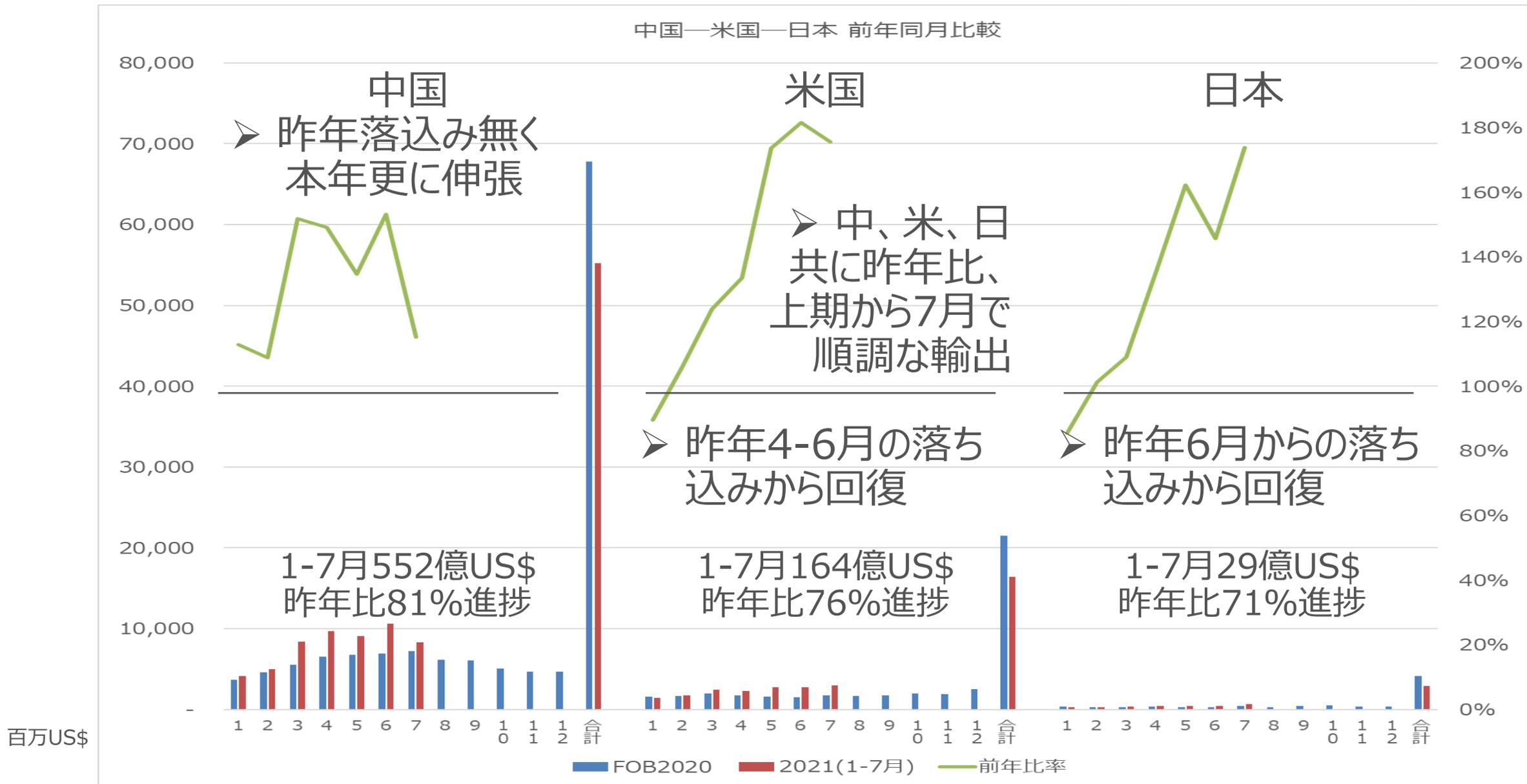


コロナ禍前の2019年を大きく上回る見込み。

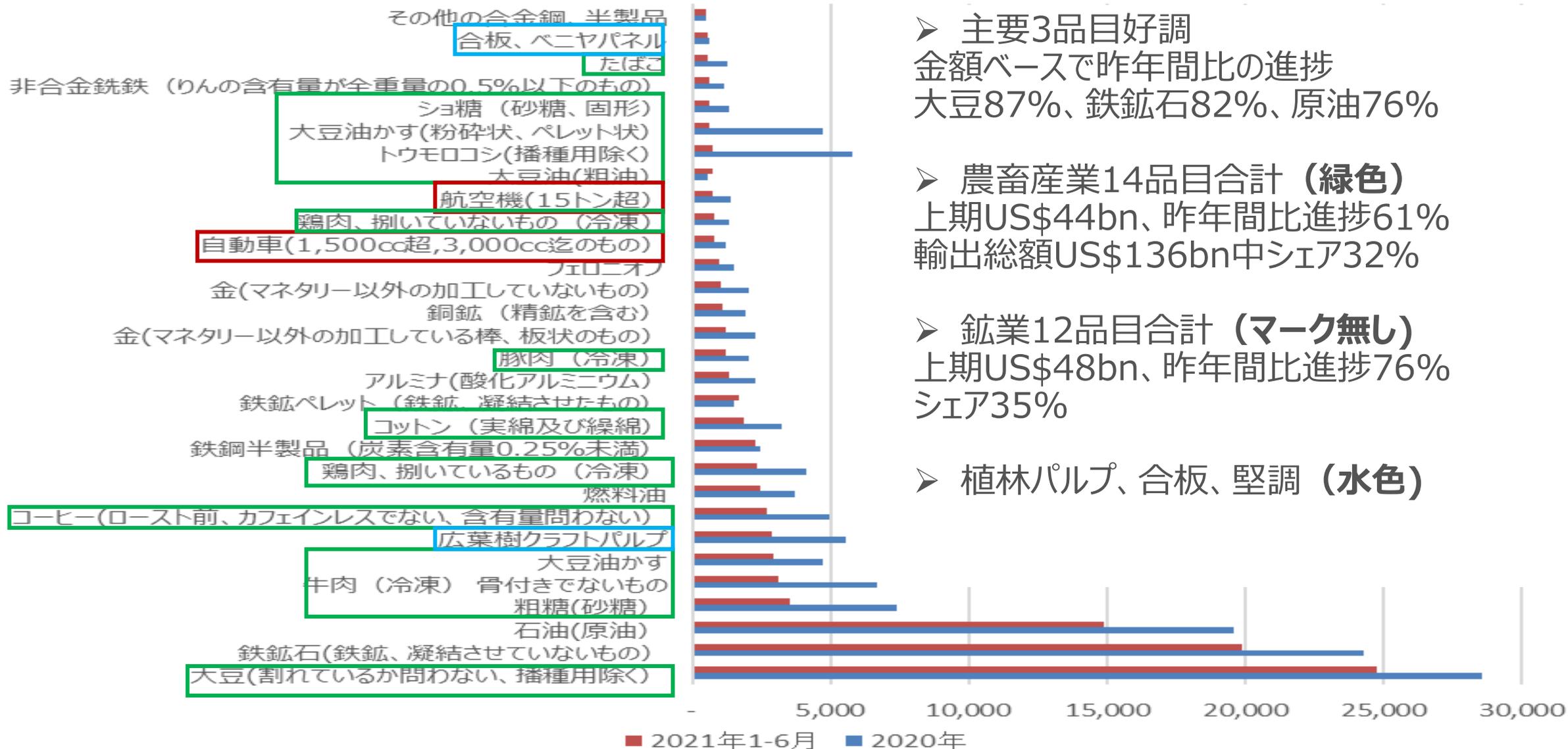
中国向け469億US\$
1/3超の34.4%占める

日本向け22億US\$
TOP10圏外の
11位1.6%に

2021年1-7月 輸出額の前年比推移比較(対中・米・日)



2021年1-6月 ブラジル輸出品目TOP30



- 主要3品目好調
金額ベースで昨年間比の進捗
大豆87%、鉄鉱石82%、原油76%
- 農畜産業14品目合計 (緑色)
上期US\$44bn、昨年間比進捗61%
輸出総額US\$136bn中シェア32%
- 鉱業12品目合計 (マーク無し)
上期US\$48bn、昨年間比進捗76%
シェア35%
- 植林パルプ、合板、堅調 (水色)

2021年1-7月 ブラジル主要品目輸出国

品目 輸出額TOP10

単位：100万ドル、千トン

品目	2019 (1-7月)		2020 (1-7月)		2021 (1-7月)			輸出先			
	輸出額	輸出量	輸出額	輸出量	輸出額	増加率*	輸出量	1位	シェア	2位	3位
大豆	17,855	51,172	23,426	68,744	28,725	23%	66,201	中国	69%	スペイン	タイ
鉄鉱石	12,356	196,734	11,880	179,027	26,656	124%	198,647	中国	63%	マレーシア	日本
原油	13,570	32,249	12,335	44,599	16,832	36%	40,348	中国	52%	米国	インド
砂糖	2,720	9,337	4,084	14,414	4,967	22%	15,285	中国	13%	アルジェリア	バングラデシュ
大豆かすおよびその他の飼料	3,690	9,985	3,684	10,495	4,719	28%	10,463	タイ	15%	インドネシア	オランダ
牛肉	3,140	821	4,139	946	4,418	7%	902	中国	56%	香港	刊
燃料油	3,342	6,643	3,295	10,157	4,106	25%	8,587	シンガポール	54%	米国	リベリア
鶏肉	3,765	2,307	3,341	2,310	3,818	14%	2,460	中国	19%	サウジアラビア	日本
クラフトパルプ	4,978	9,133	3,604	9,563	3,744	4%	9,487	中国	42%	米国	イタリア
鉄鋼半製品	2,629	5,115	2,034	5,013	3,405	67%	4,540	米国	79%	カナダ	アルゼンチン

*金額前年同期比

2021年1-7月 ブラジル主要品目輸入国

品目 輸入額TOP10

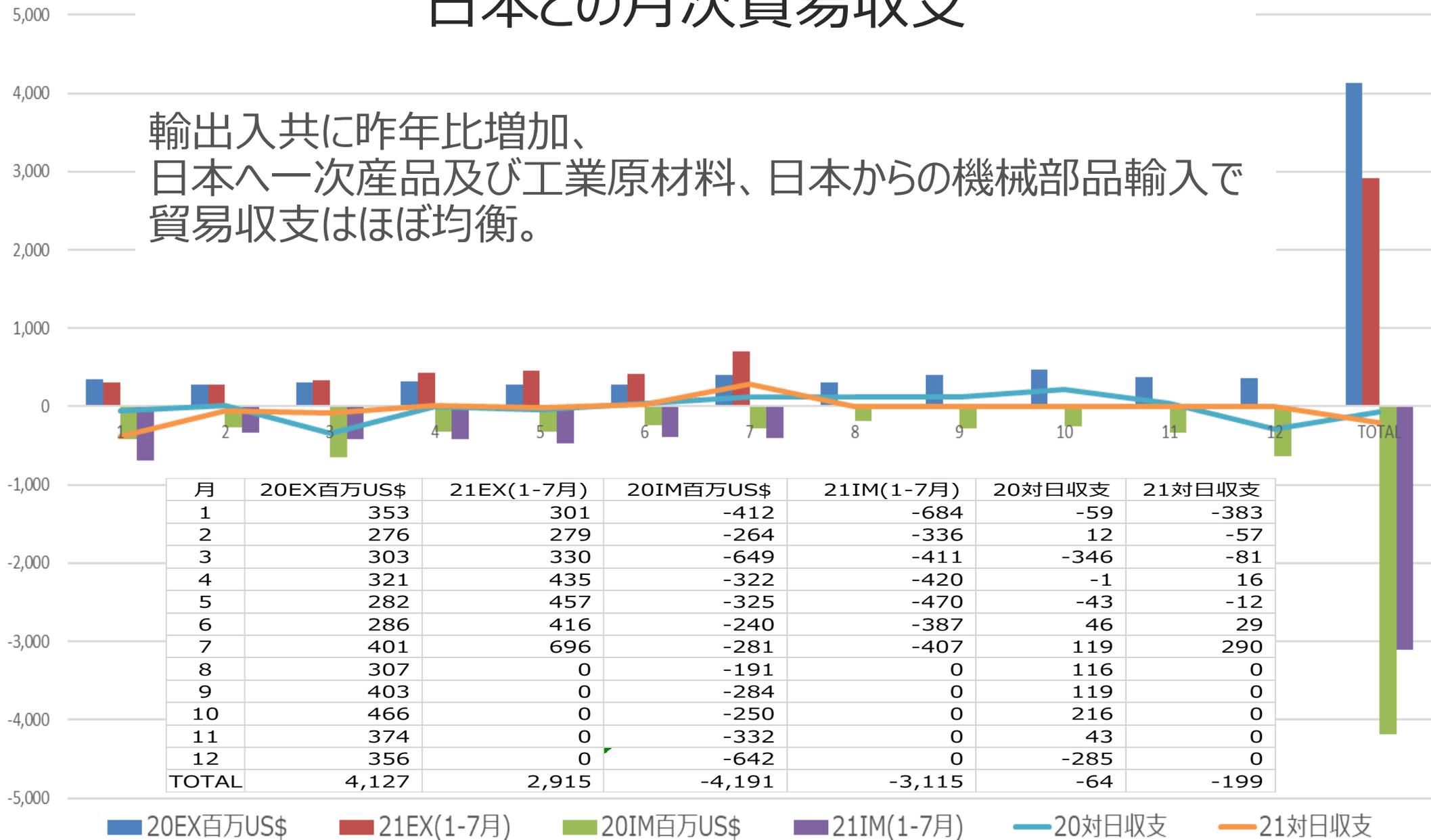
単位：100万ドル

品目	2019 (1-7月)	2020 (1-7月)	2021 (1-7月)		輸入元			
	輸入額	輸入額	輸入額	増加率*	1位	シェア	2位	3位
ディーゼル	3,351	2,478	3,404	37%	米国	48%	インド	UAE
石油	2,993	2,006	2,417	21%	サウジアラビア	39%	米国	ナイジェリア
カリウム肥料	1,810	1,408	1,458	4%	ロシア	31%	カナダ	ベラルーシ
ナフサ	1,880	659	1,424	116%	米国	60%	スペイン	ペルー
電力	914	862	1,367	59%	パラグアイ	57%	アルゼンチン	ウルグアイ
自動車5t以下	1,462	734	1,337	82%	アルゼンチン	88%	メキシコ	ウルグアイ
ターボジェット・プロペラ部品	1,860	1,645	1,311	-20%	米国	69%	フランス	トルコ
尿素・窒素肥料	803	814	1,301	60%	カタール	26%	ロシア	オマーン
ラジオ、テレビ部品	1,142	841	1,229	46%	中国	76%	ベトナム	インドネシア
精製銅	621	527	1,209	129%	中国	84%	ペルー	スウェーデン

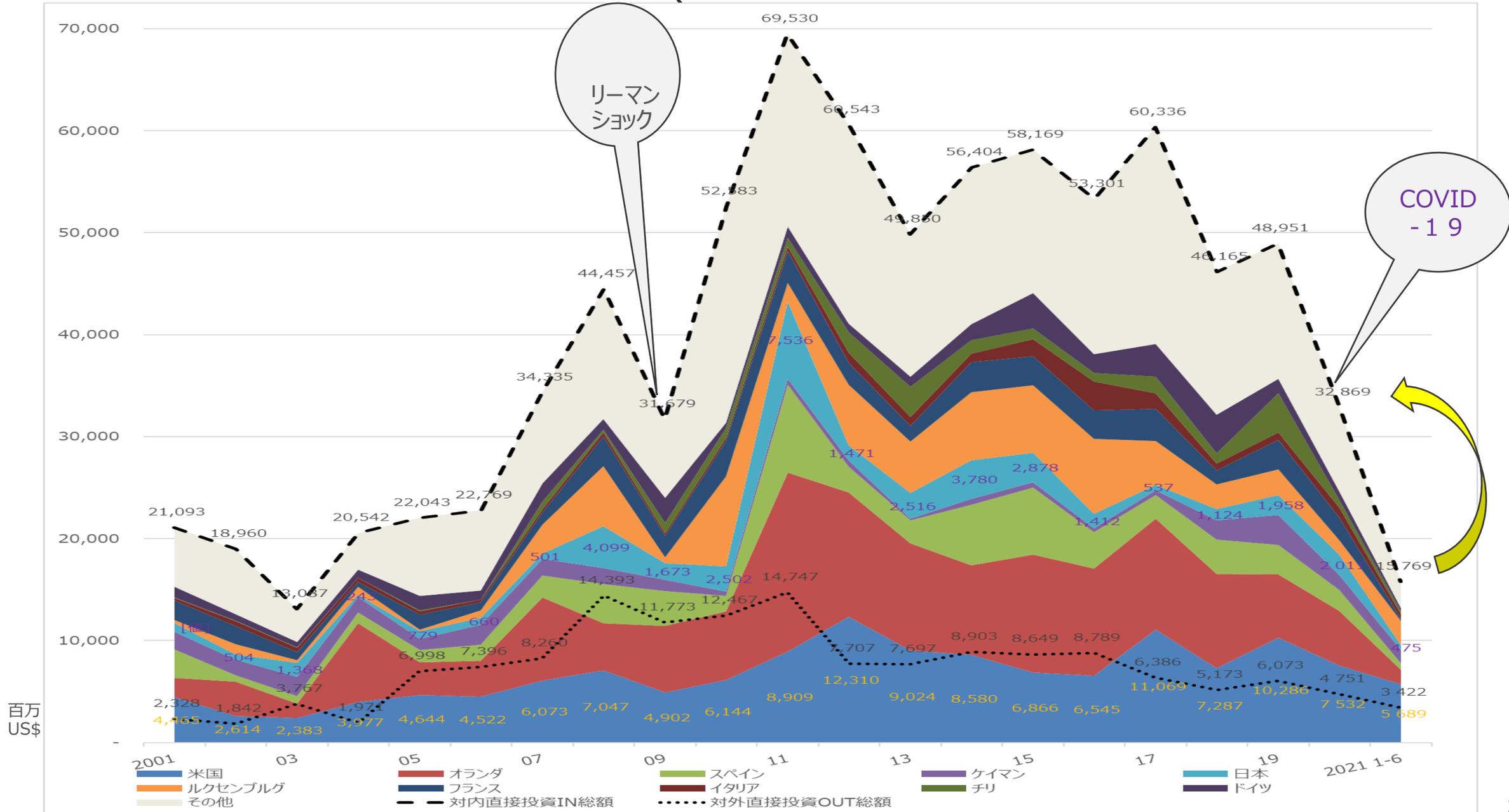
*金額前年同期比

日本との月次貿易収支

輸出入共に昨年比増加、
日本へ一次産品及び工業原材料、日本からの機械部品輸入で
貿易収支はほぼ均衡。



対ブラジル直接投資動向(過年推移と2021年1-6月迄)



2021年上期を振り返って

1. コロナ禍からのブラジル経済回復

- 一次産品・商品価格高騰及び渾水による電力価格の上昇に起因するインフレ懸念に対応する為に、景気刺激策としての金融緩和から一転引締へ転換(SELIC：2020年末2.0%→2021年6月4.25%→8月5.25%)。現金給付含むコロナ禍支援策等による公的債務拡大(行政・税務改革は途上)と政府機関による予算執行制限への懸念、デルタ株の趨勢、気候不順の産業への影響などで、景気は回復途上にあるが下押しリスクも排除出来ない状況。

2. 貿易(輸出入)動向

- 輸出入共に増加、貿易収支は昨年1~6月+US\$230億を上回る+US\$370億で推移しており、過去最高であった昨年の年間貿易収支黒字+US\$830億に迫るペースではあるものの、足元中銀の年間予想は+700億ドル。
- 大豆生産・輸出好調。大豆輸出額は1~6月時点で前年年間比87%の進捗で農業部門全般で順調。その他コモディティ輸出も引き続き順調で鉄鉱石、原油、パルプ市況は堅調に推移。
- 輸出先一位の中国は圧倒的に需要旺盛。
- レアル安は一進一退(20年末5.20→21年3月末5.70→6月末5.05→21年7月末5.12)だが引き続きunder valueレンジの中。ブラジル国内食料の逼迫インフレ要因が継続しているものの輸出競争力は維持しており、輸出増が輸入増を上回り、貿易収支は過去最高レベルを継続。

3. 直接投資

- コロナ禍から世界経済は回復基調であるが、海外からの直接投資は減少傾向が継続(リーマンショック以来の落ち込み)。2021年1~6月の対内投資額は昨年年間実績凡そ330億ドルの半分弱のペースで推移。

2021年下期以降に向けての注目点(1)

1. コロナ禍後の世界経済の回復速度と持続性。

- ワクチン接種が進む先進国とワクチン接種が遅れる後進国間の経済回復速度の違い、並びにデルタ変異株の想定以上の世界的影響度。
- 東南アジアを中心にして製造業急減速によるサプライチェーン(製品・資材供給網)への影響。景況急拡大によるコンテナ不足、運賃高騰など国際物流網のタイト化。
- 国際商品相場の高止まりとインフレ懸念。資源ナショナリズム懸念。
- 中国の歳出抑制・不動産投資規制による景気減速感。今後、構造改革を優先しつつ景気押し上げ。

2. 地球温暖化対応・カーボンニュートラル・SDGs/ESGの対応(国内外)。

- 気候変動による少雨、渇水による水力発電への影響と水路輸送への影響、穀物生産への影響。霜害による今後のコーヒー生産・収穫減。
- ブラジルの不法森林伐採や森林火災への対応如何では投資対象として、またサプライチェーン内における位置付けへのリスク。
- 中国・新疆ウイグル強制労働に係る米国法制など多面的なESG機運の高まりと国際サプライチェーンへの影響。
- EU国境炭素税などカーボンニュートラル、温暖化対策に係る物流コスト、国際競争力への影響。

2021年下期以降に向けての注目点(2)

3. ブラジルの外交政策と国内政経情勢。

- 米国との通商関係、対中国政策。EU・メルコスールEPAなどその他通商政策。メルコスールの関税同盟としての存在意義。OECD加盟を目指すブラジルの規制改革を含めたビジネス環境の改善。
- 行政改革、税制改革の行方。来年大統領選挙を見据え足元のボルソナロ大統領の支持率低下傾向でばら撒き政策懸念。公的債務増大を受け景気下支え、生活保護・失業対策を含む今後の財政政策と来年度連邦予算議論の趨勢。
- 投入財不足等による工業生産回復の足踏み。高失業率と国内需要の弱さ。失業・高インフレ・債務増加・デルタ株への懸念による消費者信頼感の低下。

4. 日本の対ブラジル通商政策。

- 日メルコスールEPAの進捗。
- 経済・国際秩序に関する日本・ブラジル二国間協力の推進。